

第12回 全国若者・ひきこもり
協同実践交流会 in 東京

カテゴリー D
分科会 7・8

ひきこもりをはじめとする若者支援に関わる個人や団体が、交流と学びあいを通して実践力とネットワークを育んでいくために、全国各地で実践交流会が開催されてきました。

今回は東京での開催となります。8つのカテゴリーをおき、14のテーマ別分科会を設けて準備しています。それぞれのテーマごとに2日間にわたって実践報告や議論を展開し、深めていきます。また、カテゴリーごとに全体会や基調講演などを企画しています。

分科会趣旨

「暮らし・学び・働き」を結んで、若者が成長する地域づくりの実践とそれを通じた政策づくりを展望します。

1日目 16:00-18:00

誰もが排除されない当事者主体の仕事づくり・地域づくり

登壇者 向谷地 生良 社会福祉法人べてるの家／北海道

2日目 9:30-11:30

分科会7
地域の課題を仕事にする
若者の働き方・暮らし方

分科会8
若者の学びと育ちを支える
地域と政策づくりの展望

詳細は裏面へ

生き心地のよい多世代
共生を育む地域づくり

3/4^⓪・5^⓪

参加費 3,000円

学生・若者 1,000円

主催・お問い合わせ

第12回 全国若者・ひきこもり協同実践交流会 実行委員会
ホームページ <http://www.jycforum.org/>
TEL 070-1251-4394 / FAX 03-3784-5609 / e-mail tky.wakamono@gmail.com

参加お申込みは
ホームページから!

カテゴリーD 基調講演

誰もが排除されない 当事者主体の 仕事づくり・地域づくり

今から35年前、北海道の東南にある日高の浦河町の古い協会の一室に集まった統合失調症などを抱える若者たちが、地域貢献を目指して、日高昆布の産直を通じた企業を志して始まったのが「浦河べてるの家」。

自らの経験を活かして地域で働く、そんな実践から、当事者主体の仕事づくり・地域づくりについて学びます。

分科会7

地域の課題を仕事にする 若者の働き方・暮らし方

若者が持っている潜在的な力は、地域の課題と真正面から向き合い、「はたらく」ことを通して豊かに発揮されます。“人”は「仕事」を通して人間的に成長し大人になります。若者が学び、人間的に成長できる仕事を地域からつくり出すとはどういうことか、実践事例を通してその在り方を考えたいと思います。

レポーター

- 塚越 教子** NPO 法人くらし協同館なかよし／茨城
岩下 紗矢香 地域協同組合無茶々園／愛媛
中桐 康介 NPO 法人長居公園元気ネット(オシテルヤ)／大阪

コーディネーター

- 志波 早苗** 生活サポート生活協同組合・東京／東京
中村 雄介 NPO 法人暮らしづくりネットワーク北芝／大阪

コメンテーター

- 川本 健太郎** 立正大学

分科会8

若者の学びと育ちを支える 地域と政策づくりの展望

自分の思いやりやりたいことに地域のさまざまな課題を重ねて取り組む若者たちが、様々な地域で活動を広げています。遊びや学びを通して、地域づくりに主体的に参加する実践、制度を活用した地域のつながりづくりの実践から、若者が主体的に学び、成長するための地域づくりの可能性と課題、政策づくりへの展望を探ります。

レポーター

- 藤井 裕也** NPO 法人山村エンタープライズ／岡山
島村 恒平 あいとうふくしモール／滋賀
辻岡 徹也 NPO 法人 Design Net-works Association／群馬
端山 聡子 横浜美術館教育普及グループ
教育プロジェクト

コーディネーター

- 竹内 佑一** PSI カウンセリング／大阪
玉木 信博 労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会／長野

コメンテーター

- 田中 夏子** 協同組合研究者・農／長野

会場

駒澤大学 駒沢キャンパス

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1
東急田園都市線「駒沢大学駅駒沢公園口」より
徒歩約10分

「駒沢大学」駅まで「渋谷」駅より約7分
正門からお入りください

駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください

